

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	レオダ 藤沢	階数	地上8F
建設地	藤沢市鶴沼石上一丁目10-9	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	57人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年12月 予定	評価の実施日	2015年8月5日
敷地面積	662 m ²	作成者	株式会社フジター級建築士事務所
建築面積	469 m ²	確認日	
延床面積	2,628 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	湘南藤沢のイメージに合わせ、外壁は白を基調とし、透明感のあるガラス手摺の構成とした。エントランス部の外壁仕上げとしては、石貼りにより重厚感を出すとともに自然素材の利用により、自然の温かみも感じられる空間とした。外壁仕上げはアクリル系吹付タイルとし、タイルの剥落の恐れがないように安全に配慮した。バルコニーの手摺には網入りの型板ガラスを採用し、建物全体に軽やかさを持たせると同時に、安全性とプライバシーを確保しながら居室へ十分な採光が行き渡るように配慮した。	その他 0
Q1 室内環境	遮音性に優れた建具「複層ガラス」を採用する。室内の空気質を健全に保ち、居住者が快適に過ごすことができるよう配慮する。全館禁煙にて喫煙所は建物内部に設置しない計画とした。	Q2 サービス性能
LR1 エネルギー	省エネルギー性に配慮した設備機器としてLED照明設備及び潜熱回収型給湯器の導入する。	Q3 室外環境(敷地内)
	LR2 資源・マテリアル	
	水栓及び便器は自動水栓などに加えて節水型便器を使用し、水資源の保護を図る。断熱材はノンフロン仕様とし、温暖化抑制を図る。	
		まちなみに対して圧迫感を与えぬよう、色彩や配置に配慮し、白を基調とした外観とし、低層部は館銘板等デザイン的なポイントを持たせつつ、ヒューマンスケールを意識した構成とした。敷地内は可能な限り緑化し、良好な景観の作成し、暑熱環境緩和を図る。エントランスアプローチ部分には、地被類を植樹し、南側敷地への出入りにはシンボルツリーとしてサルスベリを植樹することで、緑ある優しい景観を演出する。
		LR3 敷地外環境
		駐車場、駐輪場は適切な台数を確保することで過剰な交通負荷が発生しないようにする。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される